

船舶事故調査報告書

平成25年4月18日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵男（部会長）
 委員 庄司 邦昭
 委員 根本 美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成24年6月26日 06時10分ごろ
発生場所	静岡県熱海市熱海サンビーチ沖 熱海市所在の熱海港防波堤灯台から真方位136° 200m付近 (概位 北緯35° 05.6′ 東経139° 04.9′)
事故調査の経過	平成24年6月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第八山口丸 ^{やまぐち} 、0.9トン S03-21437（漁船登録番号）、個人所有 6.05m (Lr) × 1.75m × 0.62m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数25、平成4年1月19日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年11月1日 免許証交付日 平成21年12月1日 (平成26年12月7日まで有効) 甲板員 女性 69歳
死傷者等	死亡 1人（甲板員）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長ほか甲板員（妻）1人が乗り組み、カワハギの刺し網を揚収する目的で熱海市横磯漁港を出港し、平成24年6月26日05時10分ごろ熱海サンビーチ沖の漁場に到着した。 船長は、機関室囲壁天蓋に船首向きに腰を掛け、本船のプロペラに刺し網を巻き込まないように操縦棒により操縦し、甲板員が、船首部の両舷の舷縁材の間に架けられた角材の中央に船尾向きに腰を掛け、左舷端に設けられたネットホーラドラム（以下「ドラム」という。）に刺し網を掛けて揚網作業に当たっていた。 船長は、網を揚げ始めて1時間ほど経過した06時10分ごろ、網に掛かった魚を外そうと思い、下を向いて鉤を取って視線をあげたところ、甲板員が、頭から網に覆われ宙づりの状態でドラムに巻き込まれていた。

	<p>船長は、慌てて甲板員に掛かった網を破ろうとしたが破れず、ドラムが、逆転（網を繰り出す方向へ回転）していたため、甲板員と共に海へ落ちそうになったことから、機関室内にあるネットホーラのブレーカーを切り、包丁で網を切断して甲板員を救助したが、甲板員に意識はなく、急いで横磯漁港に戻った。</p> <p>甲板員は、病院に搬送され、08時06分ごろ死亡が確認され、死因は、第三胸脊髄損傷（断絶）と診断された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期</p>
その他の事項	<p>本船のネットホーラは、機関室内のバッテリー（2台、24V）で駆動され、ドラム横の操作盤のレバースイッチにより正転、停止、逆転とドラムの回転方向を選択し、速度設定用つまみにより回転速度を調節する仕様であり、また、ブレーカーを切ることによっても停止できた。</p> <p>甲板員は、網の揚収中に引っ掛かったゴミ等により絡んだ網がドラムに巻き付いた際、ドラムを逆転させて網の絡みを手で取ることがあった。</p> <p>刺し網は、本事故発生時、カワハギを捕るために水深の浅いところに仕掛けられていたことから、網に掛かる張力が小さく、網が絡まりやすかった。</p> <p>甲板員は、荒天時を除き30年以上毎日、船長と共に漁に出ていた。</p> <p>甲板員は、高血圧の持病があり、常時、薬を飲用していた。</p> <p>船長は、いつもなら会話をしながら作業している甲板員が、本事故発生時、朝から一言も話さなかったことから、体調が悪いように見えた。</p> <p>船長は、本事故発生時、気が動転していたので、甲板員がドラムに巻き込まれている姿を視認した際、すぐにネットホーラのブレーカーを切ることを思いつかなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>甲板員の死因は、第三胸脊髄損傷（断絶）であった。</p> <p>本船は、熱海サンビーチ沖の漁場において、刺し網の揚網作業中、甲板員が、体に網がかぶさり、逆転していたドラムに体を巻き込まれたことから、死亡したものと考えられる。</p> <p>甲板員は、ドラムを逆転させて網の絡みを手で取る際、ドラムに巻き込まれた可能性があると考えられるが、船長はその状況を見ていなかったことから、巻き込まれた状況を明らかにすることはできなかった。</p>

	た。
原因	本事故は、本船が熱海サンビーチ沖の漁場で刺し網を揚網作業中、甲板員が逆転していたドラムに体を巻き込まれたため、発生したものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 網の絡まりなどを手で取る際は、ドラムの回転を停止させて行うこと。